

事業計画の概要：サケ魚卵外皮(サーモンオバリー)を原料とする健康食品・化粧品向け有用アミノ酸・ペプチドの製造・販売

～標津町の地域HACCPのトレーサビリティで安全安心なサケ未利用資源を高付加価値化～

1. 従来、サケの魚肉以外の残さ部分については産業廃棄物として処理されており、有効利用方法としては、皮からコラーゲン、氷頭(頭部の軟骨)からコンドロイチン、白子からDNAを抽出して商品化されているものの、イクラ製造後の外皮(サーモンオバリー)については活用方法が存在していない未利用資源であった。
2. サーモンオバリーから抽出される有用なアミノ酸・ペプチドは、各種栄養素が集中し、多数の生理活性物質が蓄積されている。同様の機能を有する動物由来プラセンタエキスについては、アンチエイジングおよび生活習慣病予防効果が期待され、健康食品や化粧品の原料として需要は拡大しているが、BSE発生以降、動物由来を敬遠する消費者も増えているほか、宗教上の理由から動物由来を使用することが禁じられている地域・市場もある。このため、魚由来のアミノ酸・ペプチドに対する期待が高まっている。
3. 本事業では、豚由来プラセンタエキスを原料とする化粧品を開発・販売している北日本化学(株)がコア企業となり、地元福岡市で辛子明太子の原料であるスケソウタラの卵巣外皮からアミノ酸を抽出する技術を確立し、「魚卵巣外皮からペプチドの抽出技術」として国内外で特許を取得している(有)フジ・バイオ研究所、地域HACCPのトレーサビリティによって安全安心が確立されている標津町で水産加工業を営む(株)神内商店が連携して、サーモンオバリー由来のアミノ酸・ペプチドを抽出し、健康食品や化粧品の原料として製造・販売する。
4. 営業は、北日本化学(株)と(有)フジ・バイオ研究所がそれぞれ担当する。また、北日本化学(株)のグループ企業への出資会社を通じた営業も行う。将来的には、グループ企業が経営する調剤薬局チェーンを通じた健康食品会社、製薬会社等への営業活動も行う予定である。既に健康食品メーカーや商社とは契約の内諾を得ているほか、その他数社からも好感触を得ており市場性が見込まれる。

標津町のサケ

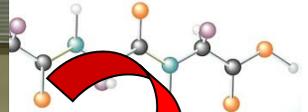


安全・安心

凍結乾燥精製品(アミノ酸・ペプチド)



アンチエイジング
および
生活習慣病予防効果！



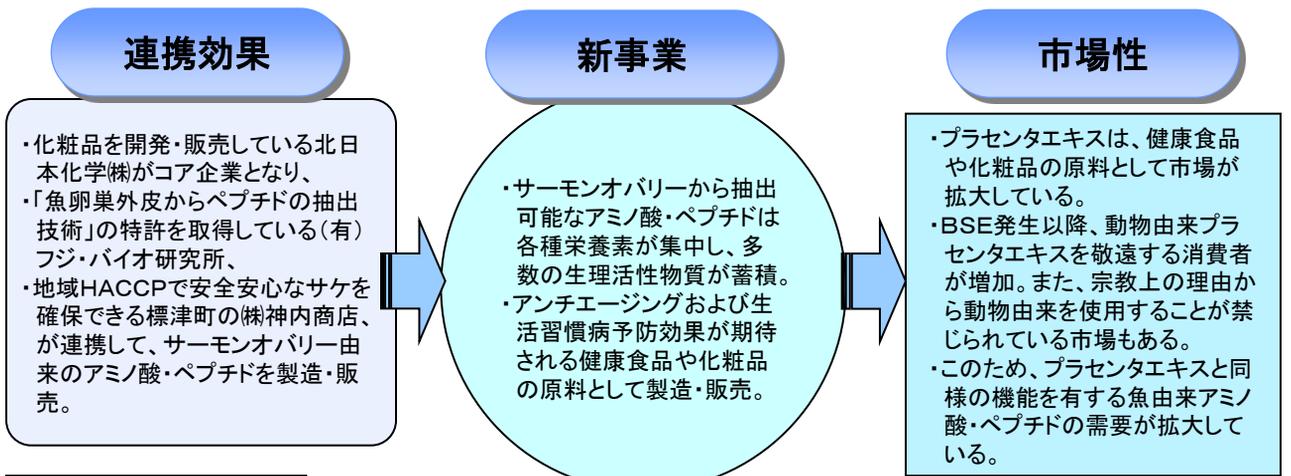
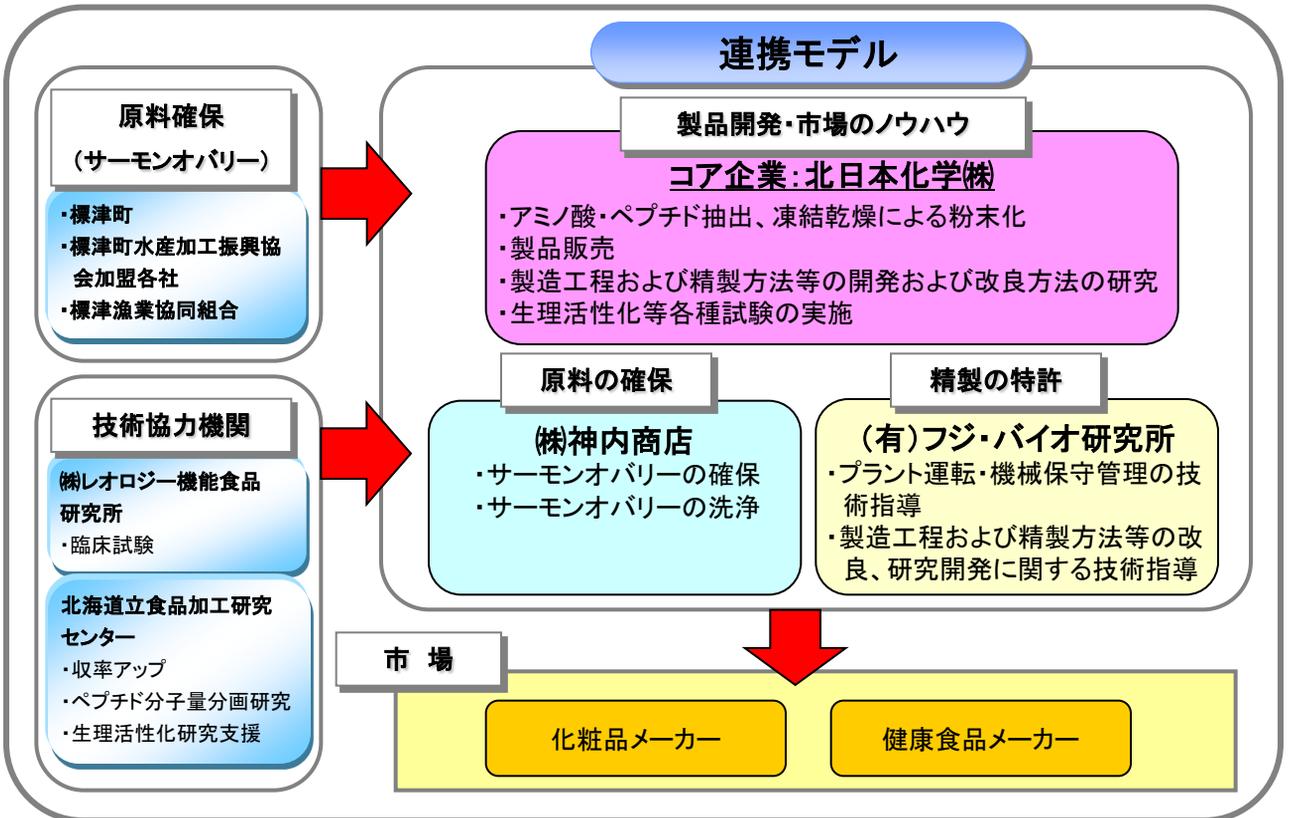
サケ魚卵の外皮(サーモンオバリー)



精製(特許)



健康食品・化粧品マーケット



支援メニュー

【支援金融機関】 北洋銀行

【活用(予定)支援メニュー】 ①補助金 ②設備投資減税 ③信用保証の特例

コア企業の会社概要

企業名・代表者	北日本化学(株) 代表取締役 盛 孝男	
所在地	恵庭市恵み野北3丁目1番1	
創立	平成13年10月	
資本金・従業員数	4,500万円	10名
TEL/FAX	011-896-3300	011-896-5577
e-mail	a.takahasi@ost-japan.com	
URL	http://www.kitanichijp/	